

## やまのかたりべ

### 第56章 ハヶ岳(編笠山)

4月に入ると毎週末天気は下り坂に。何度か企画した登山も流れ今日こそは！と決めた19日も、天気予報では下り坂。午前中は曇り予報のため日帰りで残雪を楽しめる山を急遽探す。今回は小淵沢駅からタクシーを利用して観音平と言うところからハヶ岳の編笠山へ登る事に決定。急に決めた事もあり、久し振りの単独登山となる。

4月19日(日)

AM 4時50分 起床。

お湯を沸かしテルモスに紅茶を用意。山頂でラーメンを作るためのバーナーと水も準備。

AM 5時35分 自宅を出発。朝マックでもしようかと早々に家を出発したものの、地元のマックはAM 6時オープンとの事で5分少々店の前で待機。本日の一番のお客は私。

6時06分発の電車に乗りたいのでテイクアウトにして、早々に駅に向かう。

武蔵小金井駅6時06分発に乗車し、八王子駅で6時35分松本行きの各駅電車に乗り換える。

早朝と言うのに、部活姿の学生がたくさんいる。大月を過ぎたあたりで先程購入したマックのマフィンで朝食を済ませひと眠り。

9時05分 小淵沢駅 到着。

お手洗いを済ませ改札を出る。編笠山に向かう登山者がいれば、観音平まで乗合で行こうと考えていたが登山者が自分を含め三人。ダメもとで声をかけてみるが編笠山には行かないとの事。一人タクシーとは何とも贅沢だが運転手に行き先を伝え、外の景色を楽しむ。小淵沢周辺は、丁度この頃桜が満開である。

9時25分 観音平まで向かうゲートが閉まっていたのでここで下車。地図上ではここから80分歩く距離。

タクシーだったら10分もかからない。

運転手が一人登山者なので、身支度をして歩きだすまで親切に見守ってくれる。



9時35分 ゲート前 出発。

しばらく舗装された道を歩き、途中から自然遊歩道ハイキングコースに入るため、右に逸れる。標識が壊れたままである。歩く方は見落とさない様に注意が必要。ぬかるんだ道をしばらく歩き、空もだいぶ雲が多くなって来る。遠くに南アルプスが見えているが、帰りまでこの南アルプスの山々は姿を現してくれるでしょうか……。



遠くで木を切るチェーンソーの音が響く。登山者の姿は…全くなし。途中から林道に入る。クマの出現は聞いた事がないと運転手は言っていたが、用心には用心を、ここから我が社の熊鈴を使用し歩き出す。

観音平が近づいて来ると大きな岩の間を歩くようになり、観音平に出る手前に「ひかり苔」という苔が出没。説明が記載された看板を横切り階段を上ると観音平に到着。

10時20分 観音平 到着。

あれ??人の姿を目にする前に馬の姿が目飛び込んでくる。

野生の馬か??と一瞬思うが馬上に人か...

### <ポイント1>

観音平は、八ヶ岳連峰の一つ、編笠山の南に位置する標高約1560mの展望公園。観音平という名は、甲斐源氏の始祖・親羅三郎義光がこの地に観音菩薩を祭ったという伝説にちなんで付けられた。展望台からは正面に南アルプスの山々、左手に富士山や秩父の連山を一望。初夏にはレンゲツツジが咲き乱れ、一帯がオレンジ色に染まる。八ヶ岳高原ラインから「森の駅小淵沢」近くの交差点(看板あり)を北折。カラマツ林の坂道を上ると、車(11月の末~4月末ぐらいまで道路凍結により観音平登山口のゲートが閉鎖しています。ご確認してお出かけください)で展望所まで行ける。紅葉も見事。(るるぶ.com 参照)



(自然歩道ハイキングコースからの眺め。南アルプス)

既に汗もじんわり。ジャケットを一枚脱ぎ水分補給。既に雨がポツリポツリと降り始めていたので休憩はそこそこに出発。

歩き始めはクマ笹の中を歩く、しばらくすると登り道に。天気も悪く景色も楽しめず、クマ鈴の音色にリズムを合わせ先に進むのみ。

途中、前方に人影が誰もいないと思っていただけに一瞬獣かとヒヤッとする。下山してきた登山者の方も初めて会う登山者に驚いた様子。「今日初めて登山者に会いました。雨、予報通り降ってきましたね。

山頂の手前は道がわかりにくくて迷い安いから気を付けて。僕もそこで道が分からなくてだいぶ時間ロスしてしまいました。」とのありがたいアドバイス。大きなザックの登山者はおそらく縦走してきて編笠経由で下山してきたらしい。「ありがとうございます。無理せず気を付けて行ってきます。」



11時00分 雲海展望台 到着。

ベンチも設置され、天気が良ければ気持ちのよい休憩場所。今日は生憎の空模様なので足を止めず先に進む。

林の中をひたすら進む。途中、雨がひどくなって来たので雨具を着用。今回、おニューの雨具を持参していたので雨も楽しみの一つとなる。

途中から雪が現れる。しばらくは軽アイゼンなしでも可能であるが、今回は復活軽アイゼン(クロモリ5P汎式)の使用感を確認したいこともあり、着用する。

11時40分 押手川 到着。

編笠山方面と編笠山を巻いて青年小屋(山小屋)に向かう分岐点。この辺からさらに残雪が多くなり、空腹も軽く感じたので、雨がひどくなる前にと行動食を食べ先を急ぐ。



押手川からは急登になる。夏道であれば、80分真っ直ぐひたすら登れば山頂につく道。途中はしごもある。

山頂に近づくにつれ大きな岩が露出している。アイゼン着用時

はひっかけない様に注意が必要。山頂に近づくにつれ樹木が少なくなる。ハイマツ帯に変わり、そして森林限界へ。上を見上げると…ホワイトアウト。真っ白の世界。編笠山の山頂はのっぺりしているの、森林限界を抜けたあと山頂の道標を見落としたり、先ほど会話した登山者の様に道に迷ってしまう可能性がある。しばらく先に進むか考えたが熟慮の上、下山する事に。山頂で食べるラーメンを楽しみにしていただけにガックリ…。下山はクロモリ5P靴から、クロモリ6P靴式に変えて使用感を確かめることに。



(森林限界の少し手前 雪もまだまだ豊富)



(観音平から見える山々)

13時10分 押手川 戻り。

テルモスの紅茶で温まる。菓子パンを食べてエネルギー補充。復活軽アイゼンの使用感もバッチリ。

13時40分 雲海展望台 通過。

14時10分 観音平 到着。

景色も楽しめないのひたすら歩いたので思ったより早い下山になる。観音平に屋根付きの休憩所があったので小休憩。誰もいなく本当に静かな山。

14時50分 ここからまた来た道を戻りゲート前に到着。

山頂にも行けず早い下山となったので、往路のタクシーで見かけた「道の駅こぶちさわ」まで歩こうと思いつく。途中満開の桜を目にする。

今年、地元では桜をゆっくり眺めることがなかったのでここで楽しむとは幸運。

15時30分 道の駅こぶちさわ 到着。

## <ポイント2>

「爽快空間ホッとすていしょん 道の駅こぶちさわ」。足湯あり(期間限定)、体験工房有り、オリジナル商品満載。日本経済新聞「家族で一日楽しめる道の駅ランキング」東日本で第二位に選出。

体験工房は陶芸、そば打ち、パン作り、はた織りなど全14種類の体験が可能。予約が必要な体験モノもあるので詳細はホームページ参照。<http://michinoeki.spatio.jp/>

地元の野菜でも買って行こうと農産物直売センターに立ち寄るが時刻は15時過ぎ。既に野菜はほぼ完売。残念！

インフォメーションへ行き、小淵沢駅に向かうバスがあるか訪ねると15時45分に小淵沢駅に行くバスがあるとのこと。タクシーでしか駅に戻れないと思っていただけに、これまたラッキー！！

本々を運び、緑に薫る心地よい風。  
 ハッ唇前庭、自然豊かな駅ごぶちさわ。  
 地元産材をまかした手作りジャムや焼き立てパン、  
 地元産の野菜や果、農産物などの販売コーナー。  
 カフェ・アリアや足湯まで多彩にそろって快哉。  
 そば打ち体験も楽しめます。  
 また、道の駅こぶちさわ併設の  
 スパティオ小淵沢を拠点に  
 森林浴やウォーキングをしたり、  
 アウトレットヘッパングや観光地にも快哉です。  
 首領園から2時間、美しい景色の中、  
 ホッとひと息、リフレッシュしませんか。

【お問い合わせ】  
**道の駅こぶちさわ**  
 〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢 2908-1  
 TEL. 0551-36-3280 FAX. 0551-36-3282  
 URL: <http://www.spp04.jp/>  
【お問い合わせ先】 道の駅こぶちさわ 2908-1 山梨県北杜市小淵沢 2908-1

隣接している温泉施設「延命の湯」を楽しむ時間はなかったが待ち時間無くバスに乗車。道の駅から小淵沢駅まで運賃 300 円。

### <ポイント 3>

バスの本数は少ないので、事前に調べて利用されることをお勧めいたします。下記、バス会社のホームページ。

<http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/komoku/kurashi/kokyokotsu/1395456135-84.html#13638508260>

16 時頃 小淵沢駅 到着。

既に雨は止んでおり、ホームにて濡れた装備をザックに押し込む。

16 時 17 分「JR ホリデー快速ビューやまなし号・新宿行」に乗車。この電車、二階建てでしかもかなり駅を飛ばしてくれる。自由席は通常の切符のみで可。とても快適。

ホームで会話を交わした登山者 2 人の方とご縁があり、車内でお互いの登山のお疲れ様会をすることに。下車するまで 2 人の楽しい山話を聞かせていただく。また何処かの山でお会いした際には宜しくお願いいたします。

天気の良い中、一人で歩く登山は神経が研ぎ澄まされる。複数で登る登山は楽しいものだが、たまにはこういう単独行も必要かと思う。そして、復活！軽・簡易アイゼンの使用感もばっちり、装着が更に簡単でお勧めです。帰りの電車の登山者二人との出会いも含め充実した一日に感謝。

4/19(日)

八王子駅発	6 時 35 分
小淵沢駅到着	9 時 05 分
観音平口(ゲート)発	9 時 35 分
観音平着	10 時 20 分
押手側着	11 時 40 分
山頂に行かず引き返す	
押手側着	13 時 10 分
観音平着	14 時 10 分
観音平口(ゲート)着	14 時 50 分
小淵沢駅発	16 時 17 分
武蔵小金井駅着	18 時 45 分



(バス停の前に咲いていた満開の桜)